



2014年3月期

決算説明会

2014年5月30日
リログループ

目次

項目	スライドNO.
◆ 連結業績	3
◆ セグメント別業績	9
国内事業セグメント	9
海外事業セグメント	34
その他	46
◆ 2014年3月期計画	50
◆ 参考資料	54

2

連結業績

3

連結業績概要

① **14期連続 増収**

② **5期連続 最高益更新**

4

連結業績概要

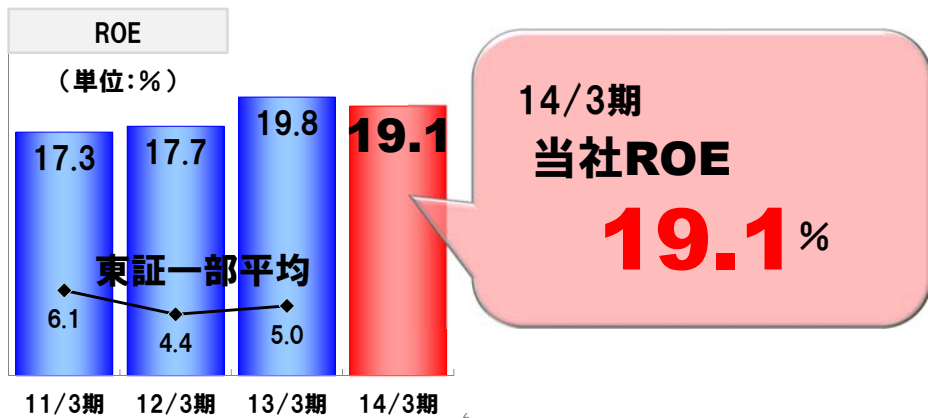
(百万円未満切捨)

	14/3期 実績	13/3期 実績	前期比	14/3期 期初計画	期初 計画比
営業収益	125,332	115,059	+ 8.9%	120,000	+ 4.4%
営業利益	7,212	6,291	+ 14.6%	7,200	+ 0.2%
経常利益	8,252	7,144	+ 15.5%	8,000	+ 3.2%
当期純利益	4,819	4,356	+ 10.6%	4,900	▲ 1.6%
EPS(円)	329.61	297.76	+ 10.7%	331.24	▲ 0.5%

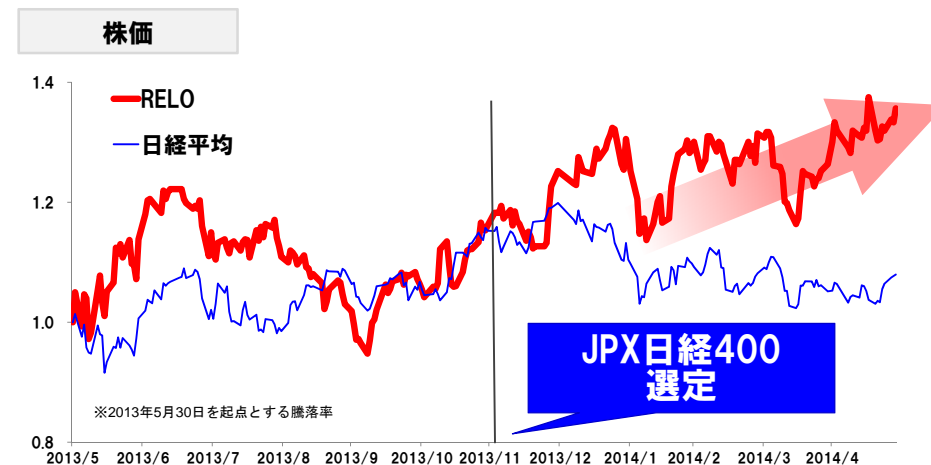
5

ROE

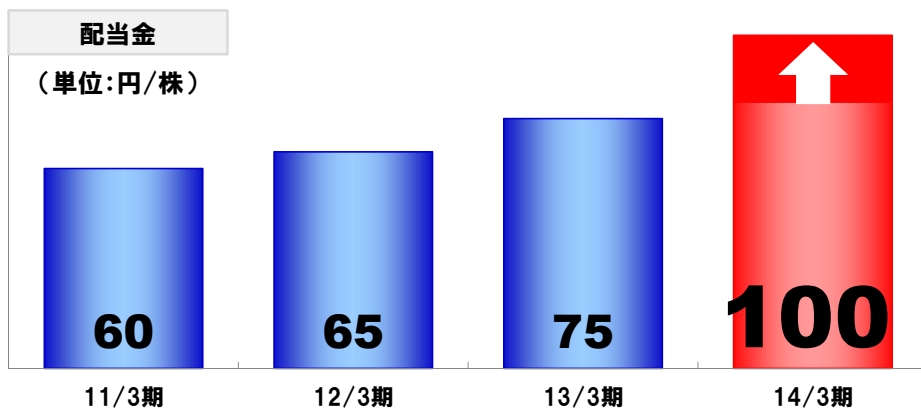
JPX日経インデックス400銘柄に選定



株価



配当性向引き上げ

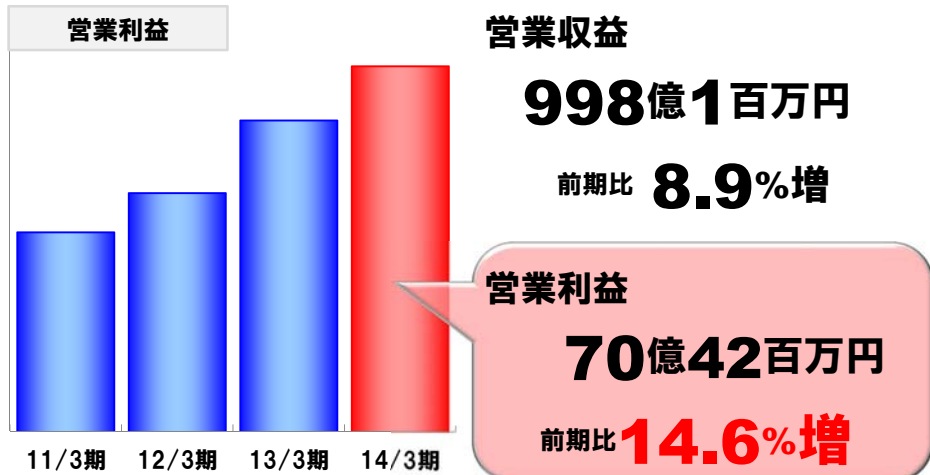


配当性向 **25%**前後 ⇒ **30%**前後

セグメント別業績

国内事業セグメント

国内事業セグメント 業績



10

国内事業セグメント

◆ 福利厚生事業

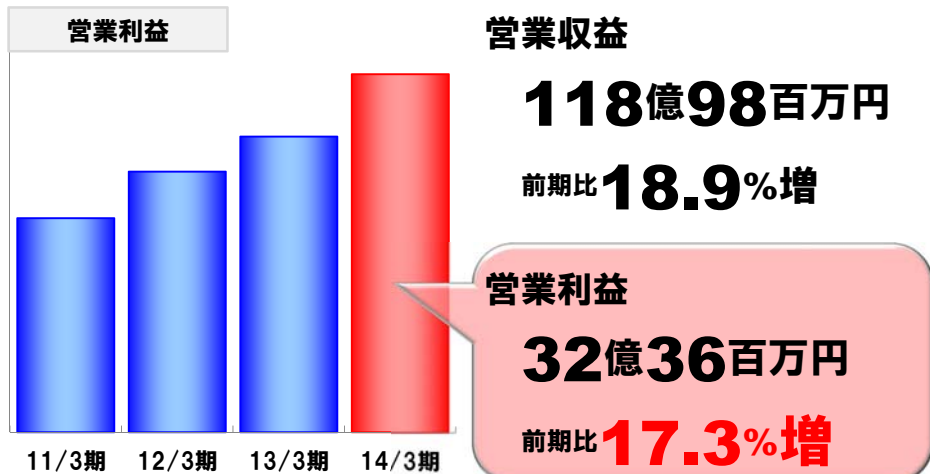
◆ 社宅管理事業

◆ 賃貸管理事業

すべての
事業で
増収増益

11

福利厚生事業 業績



※(旧)福利厚生事業セグメント

12

福利厚生事業

◆ 引き続き**会員基盤が拡大**

中堅・中小企業への営業を強化し加入が伸張

◆ 利用関連収益 **獲得堅調**

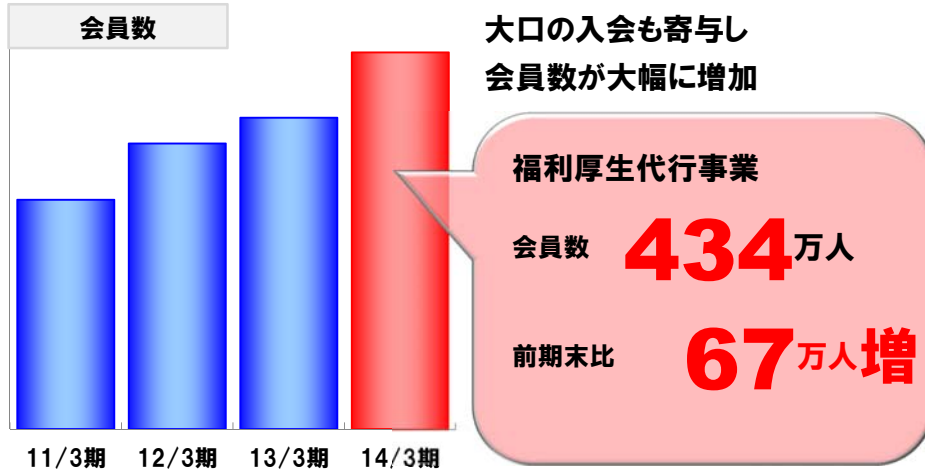
メニュー拡充と会員による利用増加が寄与

◆ **コンテンツ収益 伸張**

会員基盤を活用し集客を強化

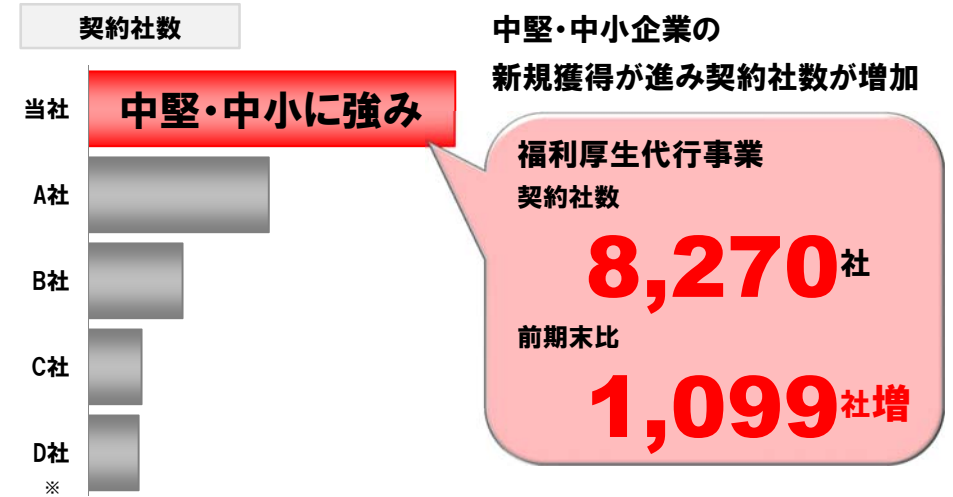
13

福利厚生代行事業 会員数



14

福利厚生代行事業 契約社数



15

※他社契約社数は当社推計

福利厚生事業

◆ 引き続き会員基盤が拡大

中堅・中小企業への営業を強化し加入が伸張

◆ 利用関連収益 獲得堅調

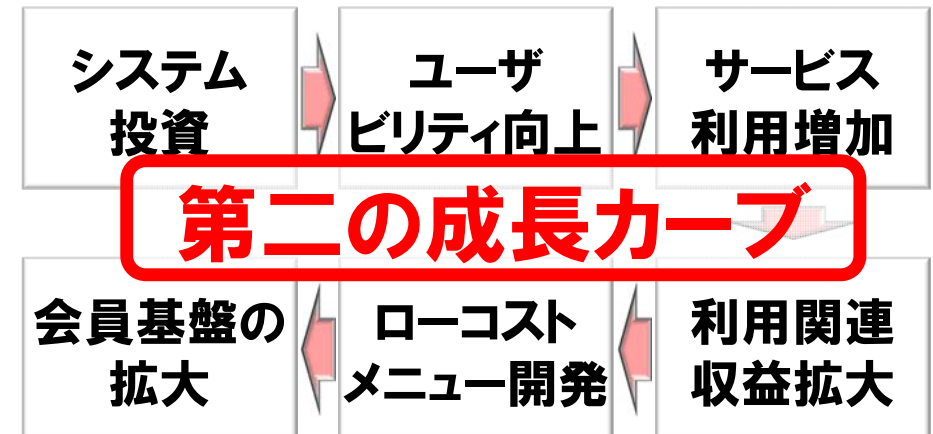
メニュー拡充と会員による利用増加が寄与

◆ コンテンツ収益 伸張

会員基盤を活用し集客を強化

16

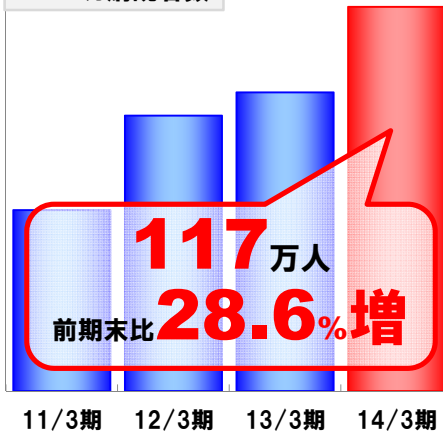
福利厚生代行事業



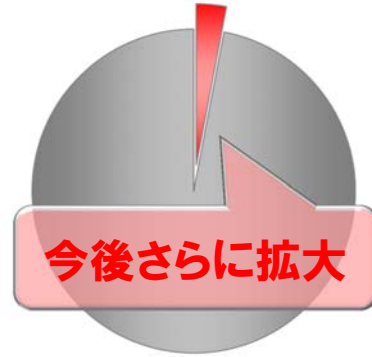
17

福利厚生事業

メルマガ購読者数



利用関連収益を得られる
サプライヤーの割合



18

福利厚生事業

◆ 引き続き**会員基盤が拡大**

中堅・中小企業への営業を強化し加入が伸張

◆ 利用関連収益 **獲得堅調**

メニュー拡充と会員による利用増加が寄与

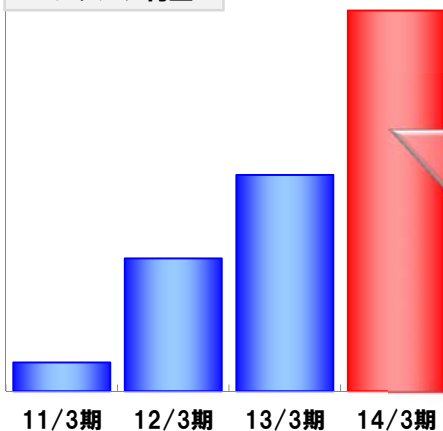
◆ **コンテンツ収益 伸張**

会員基盤を活用し集客を強化

19

福利厚生事業 コンテンツ

コンテンツ利益



ホテル・駆付けサービスなど
コンテンツの**業績が伸張**

コンテンツ利益

3億40百万円

前期比 **75.9%増**

20

福利厚生事業 コンテンツ

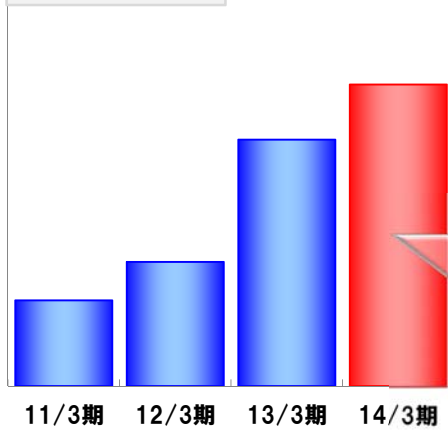


**新たな事業スキーム
運営受託・コンサルティングを開始**

21

社宅管理・賃貸管理事業 業績

営業利益



営業収益

879億2百万円

前期比7.6%増

営業利益

38億5百万円

前期比12.5%増

11/3期 12/3期 13/3期 14/3期

※(旧)国内リロケーション事業セグメント

22

社宅管理・賃貸管理事業

◆ 社宅管理 反転攻勢

商品ラインナップ拡充により、幅広い顧客層を獲得

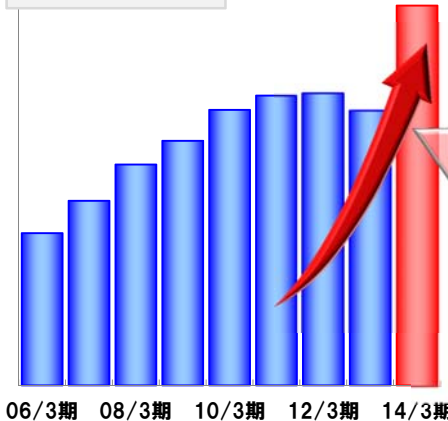
◆ 賃貸管理 7ブロック展開 開始

東都さらなる業績伸張、ベストス横展開で管理戸数増加

23

社宅管理事業

社宅管理戸数



社宅管理戸数

83,079戸

前期末比

38.2%増

06/3期 08/3期 10/3期 12/3期 14/3期

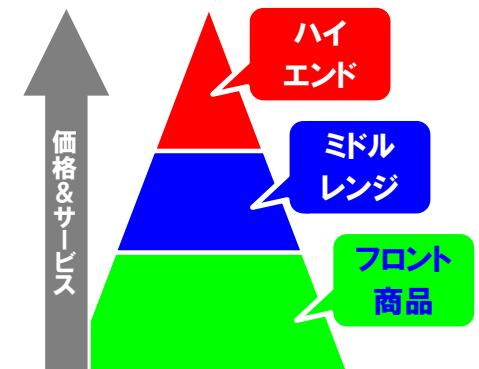
24

社宅管理事業

リログループの強み

すべての矢面に立つ
「転貸方式」

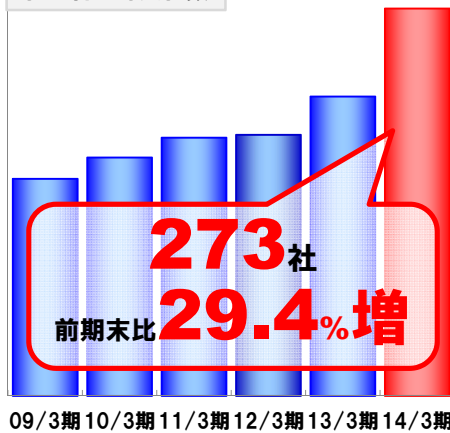
+

敷金預け入れ不要
「リロ補償」顧客ニーズに合わせ
商品ラインナップ拡充

25

社宅管理事業

社宅管理導入社数

社宅管理の
導入社数が増加

- ◆ 中堅企業における社宅ニーズの増加
- ◆ 国内事業セグメント統合によるシナジー

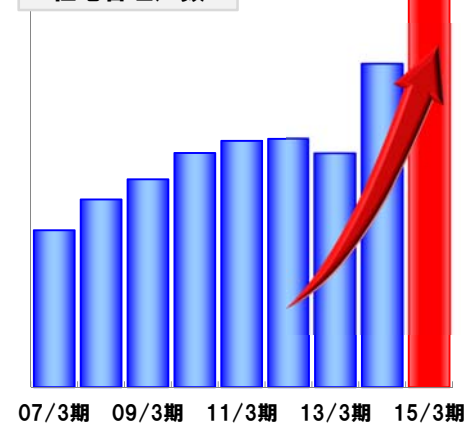
09/3期 10/3期 11/3期 12/3期 13/3期 14/3期

26

計画

社宅管理事業

社宅管理戸数



市場ダントツNO.1に向けて

15/3期末管理戸数 計画

100,000戸

07/3期 09/3期 11/3期 13/3期 15/3期

27

社宅管理・賃貸管理事業

◆ 社宅管理 反転攻勢

商品ラインナップ拡充により、幅広い顧客層を獲得

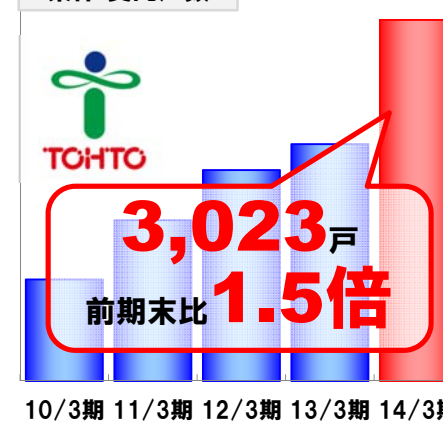
◆ 賃貸管理 7ブロック展開 開始

東都さらなる業績伸張、ベストタス横展開で管理戸数増加

28

賃貸管理事業

東都 受託戸数



東都

2010年(加入直前期)

営業利益 約 **4億円**

2014年3月期

営業利益 約 **10億円**

10/3期 11/3期 12/3期 13/3期 14/3期

29

賃貸管理事業

ベストাস

2014年3月期

営業収益 約 **30** 億円

前期比 約 **15%増**

ベストাস 受託戸数

1,002 戸
計画達成

11/3期 12/3期 13/3期 14/3期



賃貸管理事業

ナカミチ

ロールアップによる
管理戸数積み増し

宮城県における賃貸管理戸数

10位* **7**位

管理戸数ランキングアップ



*出典: 全国賃貸住宅新聞 2013年7月15日号

賃貸管理事業 管理戸数

賃貸管理戸数

ベストাস
ナカミチ
グループ入り

賃貸管理戸数

26,072 戸

前期末比

6,672 戸増

10/3期 11/3期 12/3期 13/3期 14/3期

計画 国内事業セグメント 業績

営業利益

営業収益

1,152 億円

前期比 **15.4%増**

営業利益

80 億円

前期比 **13.6%増**

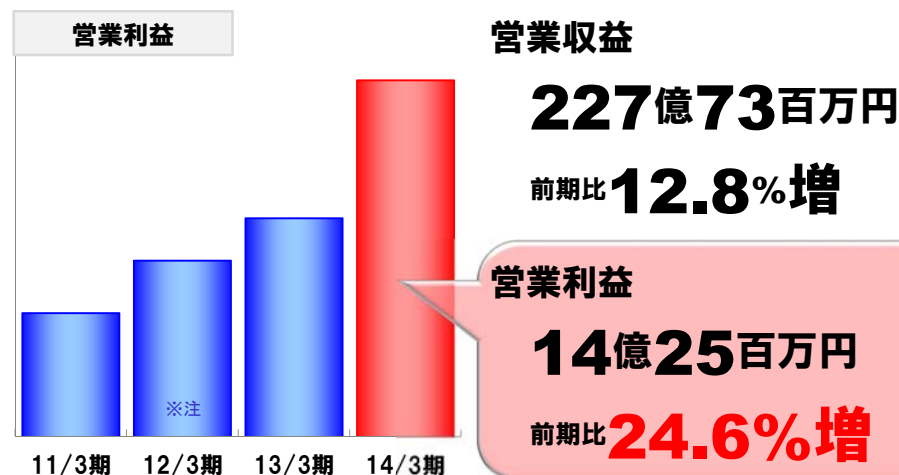
12/3期 13/3期 14/3期 15/3期

セグメント別業績 海外事業セグメント

34

海外事業セグメント

海外事業セグメント 業績



※注 12/3期 営業利益は、不動産売却益約1億円を除いた金額を表示

35

海外事業セグメント

海外事業セグメント

◆ 留守宅管理 堅調に推移

仲介業者向け営業強化などにより成約率向上

◆ 海外赴任サポート 伸張

新興国景気減速が影響するも新規獲得により支援世帯数増加

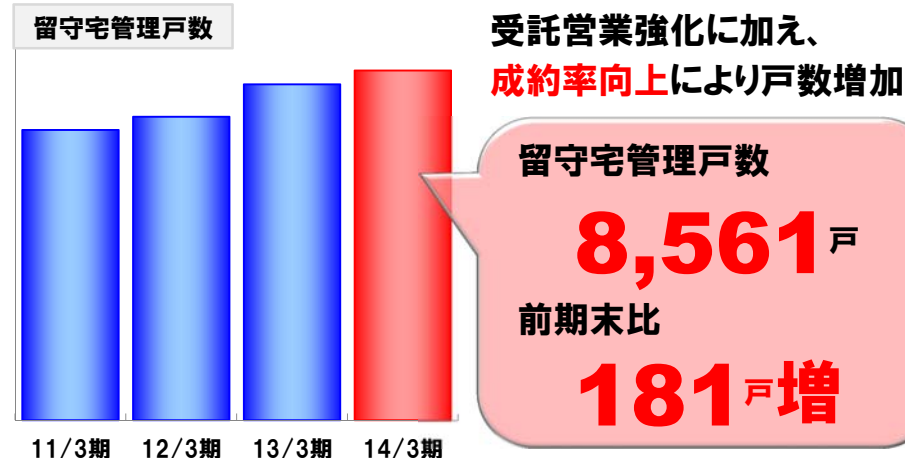
◆ 海外現地サポート 拡充

北米で赴任者の移動が活発化、住宅斡旋件数 増加

36

海外事業セグメント

留守宅管理事業 管理戸数



37

海外事業セグメント

◆ 留守宅管理 堅調に推移

仲介業者向け営業強化などにより成約率向上

◆ 海外赴任サポート 伸張

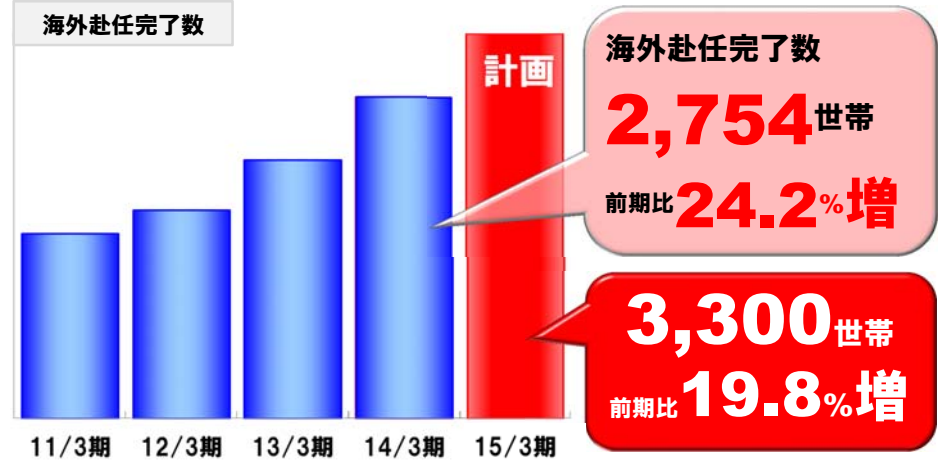
新興国景気減速が影響するも新規獲得により赴任支援世帯数増加

◆ 海外現地サポート 拡充

北米で赴任者の移動が活発化、住宅斡旋件数 増加

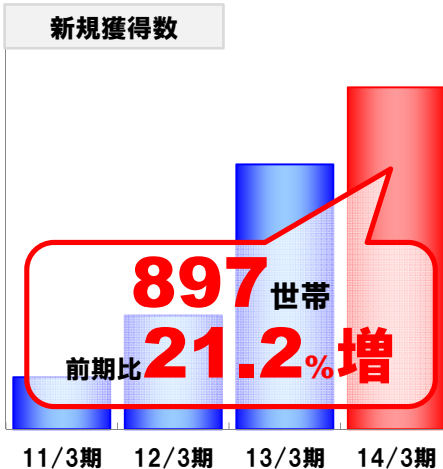
海外赴任サポート事業

海外赴任完了数

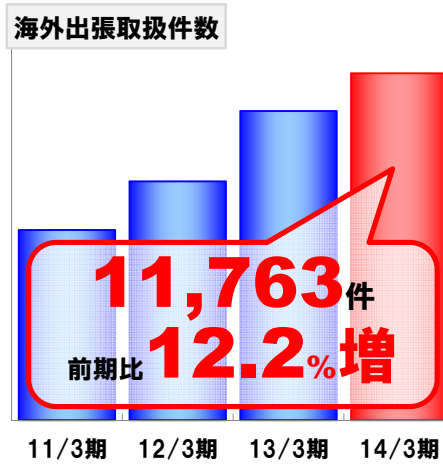


海外赴任サポート事業

新規獲得数

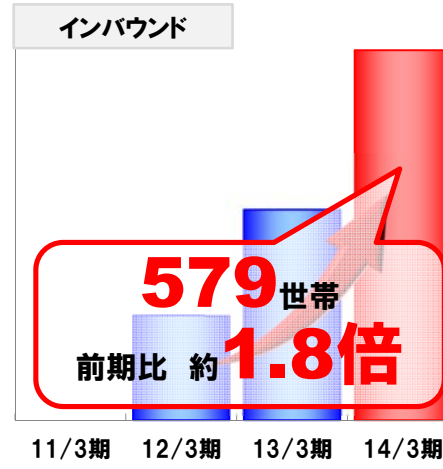


海外出張取扱件数

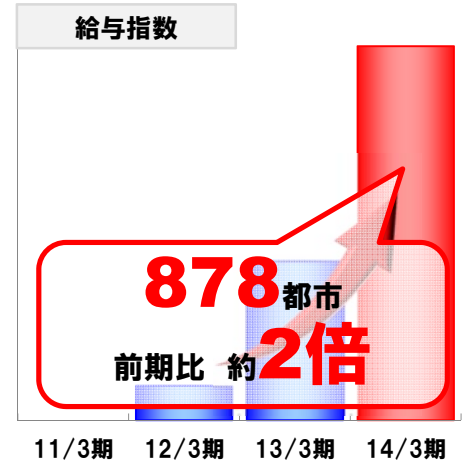


海外赴任サポート事業

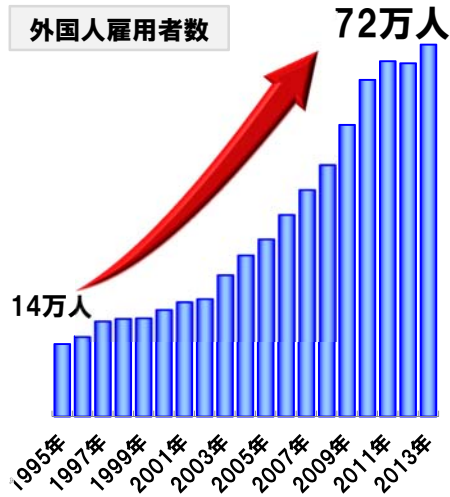
インバウンド



給与指数



インバウンド・リロケーション



日本への外国人赴任者を
総合的にサポート

海外事業セグメント

◆ 留守宅管理 **堅調に推移**

仲介業者向け営業強化などにより成約率向上

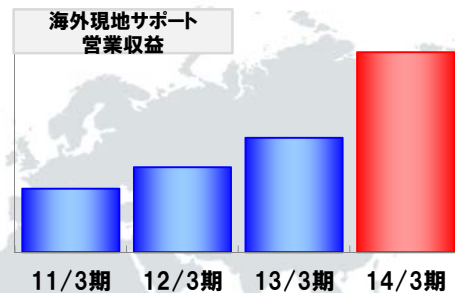
◆ 海外赴任サポート **伸張**

新興国景気減速が影響するも新規獲得により支援世帯数増加

◆ **海外現地サポート 拡充**

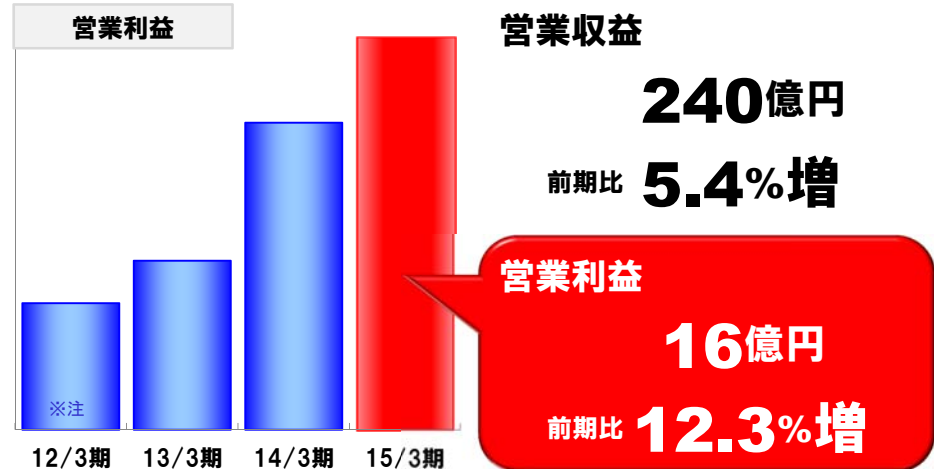
北米で赴任者の移動が活発化、住宅斡旋件数 増加

海外現地サポート事業



海外現地サポート
営業収益 **32億37百万円**
前期比 **75%増**

計画 海外事業セグメント 業績



セグメント別業績 その他

46

その他 業績

金融・保険事業

営業収益

4億92百万円 (前期比26.9%減)

営業利益

1億46百万円 (前期比13.2%減)

- ◆ 概ね計画通りに推移
- ◆ 保険見直しによるコスト削減で主力事業の顧客獲得に貢献

リゾート事業

営業収益

22億65百万円 (前期比9.4%減)

営業利益

-12百万円 (前期比262百万円減)

- ◆ 既存会員向けサービス拡充
- ◆ 経営資源をコア事業へ集中

47

新たな保険商品

リロ・ヘルスケア・プログラム

補償対象

一般の海外旅行保険

- 傷害治療
(事故・けがなど)
- 疾病治療
(突発的な病気)



- 既往症の治療
(継続治療中の持病など)
- 歯科治療

日本で治療を受けた場合と同等の自己負担額で治療が受けられる

48

その他 業績

金融・保険事業

営業収益

4億92百万円 (前期比26.9%減)

営業利益

1億46百万円 (前期比13.2%減)

- ◆ 概ね計画通りに推移
- ◆ 保険見直しによるコスト削減で主力事業の顧客獲得に貢献

リゾート事業

営業収益

22億65百万円 (前期比9.4%減)

営業利益

-12百万円 (前期比262百万円減)

- ◆ 既存会員向けサービス拡充
- ◆ 経営資源をコア事業へ集中

49

2015年3月期 計画

50

計画

2015年3月期 連結業績

(百万円未満切捨)

	14/3期 実績	15/3期 計画	前期比
営業収益	125,332	142,000	+13.3%
営業利益	7,212	8,250	+14.4%
経常利益	8,252	9,100	+10.3%
当期純利益	4,819	5,650	+17.2%
EPS(円)	329.61	384.54	+16.7%
1株当たり 年間配当金(円)	100	115	+15円

51

計画 2015年3月期 セグメント別業績

(百万円未満切捨)

	営業収益			営業利益		
	15/3期 計画	14/3期 実績	前期比	15/3期 計画	14/3期 実績	前期比
国内事業	115,200	99,801	+15.4%	8,000	7,042	+13.6%
海外事業	24,000	22,773	+5.4%	1,600	1,425	+12.3%
その他の事業	2,800	2,757	+1.5%	150	134	+11.7%
連結消去	-	-	-	▲ 1,500	▲ 1,388	-
連結	142,000	125,332	+13.3%	8,250	7,212	+14.4%

52

参考資料

2014年3月期末 連結BS

(百万円未満切捨)

資産の部	14/03期	13/03期	増減
流動資産合計	29,227	23,068	6,159
現金及び預金	9,278	6,610	2,665
受取手形及び営業未収入金	7,602	6,170	1,432
有価証券	44	46	▲ 2
販売用不動産	1,471	865	605
貯蔵品	278	273	4
前渡金	7,373	5,529	1,844
その他	3,183	3,592	▲ 399
貸倒引当金	▲ 11	▲ 19	7
固定資産合計	27,485	25,575	1,919
有形固定資産合計	3,983	3,526	457
建物(純額)	2,431	2,149	282
建物	4,320	3,822	497
減価償却累計額	▲ 1,888	▲ 1,673	▲ 214
工具、器具及び備品(純額)	282	224	37
工具、器具及び備品	1,077	915	161
減価償却累計額	▲ 815	▲ 691	▲ 124
土地	1,183	978	215
その他	87	174	▲ 77
無形固定資産合計	4,873	4,513	160
ソフトウェア	1,275	1,181	94
のれん	3,344	3,282	61
その他	53	48	4
投資その他の資産合計	18,837	17,536	1,301
投資有価証券	7,946	7,996	▲ 50
敷金及び保証金	8,732	7,230	1,501
その他	2,201	2,411	▲ 210
貸倒引当金	▲ 42	▲ 102	59
資産合計	56,723	48,644	8,078

(百万円未満切捨)

負債・純資産の部	14/03期	13/03期	増減
流動負債合計	21,828	17,524	4,304
営業未払金	2,604	1,951	652
短期借入金	1,824	1,026	898
1年内返済予定の長期借入金	1,420	1,096	324
未払法人税等	1,001	1,430	▲ 428
前受金	10,616	8,247	2,368
賞与引当金	379	387	▲ 8
その他	3,881	3,383	497
固定負債合計	8,233	7,092	1,140
長期借入金	3,127	2,210	917
債務保証損失引当金	87	70	▲ 2
長期預り敷金	4,549	4,246	303
退職給付に係る負債	221	0	221
負ののれん	4	5	▲ 1
その他	282	559	▲ 297
負債合計	30,081	24,617	5,444
純資産合計	26,681	24,027	2,634
株主資本合計	26,430	23,881	2,548
資本金	2,887	2,667	0
資本剰余金	2,883	3,198	▲ 314
利益剰余金	22,515	18,832	3,682
自己株式	▲ 1,636	▲ 816	▲ 819
その他の包括利益累計額合計	81	22	68
その他有価証券評価差額金	103	219	▲ 116
為替換算調整勘定	39	▲ 197	236
退職給付に係る調整累計額	▲ 51	0	▲ 51
新株予約権	93	74	18
少数株主持分	48	48	▲ 1
負債純資産合計	56,723	48,644	8,078

2014年3月期 連結CF

(百万円未満切捨)

キャッシュ・フロー計算書	14/03期	13/03期	増減
営業キャッシュ・フロー	3,823	5,630	▲ 1,707
税金等調整前当期純利益	7,642	7,083	478
減価償却費	687	624	43
減損損失	509	186	337
のれん償却額	226	153	73
持分法による投資損益(△は益)	▲ 785	▲ 794	▲ 89
投資有価証券売却損益(△は益)	86	▲ 113	200
売上債権の増減額(△は増加)	1,048	▲ 1,452	2,499
仕入債務の増減額	▲ 1,188	461	▲ 1,860
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	▲ 1,501	1,028	▲ 2,530
法人税等の支払額	▲ 2,791	▲ 2,588	▲ 201
その他	127	992	▲ 865
投資キャッシュ・フロー	▲ 912	▲ 2,298	1,386
有形固定資産の取得による支出	▲ 844	▲ 571	▲ 272
有形固定資産の売却による収入	415	4	410
ソフトウェアの取得による支出	▲ 654	▲ 453	▲ 100
投資有価証券の売却による収入	237	118	119
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲ 14	▲ 987	973
その他	▲ 152	▲ 408	256
財務キャッシュ・フロー	▲ 488	▲ 1,535	1,068
短期借入金の純増減額(△は減少)	884	811	▲ 126
長期借入れによる収入	3,127	-	3,127
長期借入金の返済による支出	▲ 1,976	▲ 1,358	▲ 618
自己株式の取得による収入	▲ 1,440	▲ 448	▲ 991
自己株式の処分による収入	298	457	▲ 158
配当金の支払額	▲ 1,137	▲ 980	▲ 156
その他	▲ 23	▲ 16	▲ 7
現金及び現金同等物期末残高	9,160	6,525	2,635

お問い合わせ

ご連絡先
 (株)リロ・ホールディング 企画IRグループ
 TEL: 03-5312-8704
 E-Mail: ir@relo.jp
 URL : <http://www.relo.jp/>

本資料は、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
 また、本資料は2014年3月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。



2014年3月期

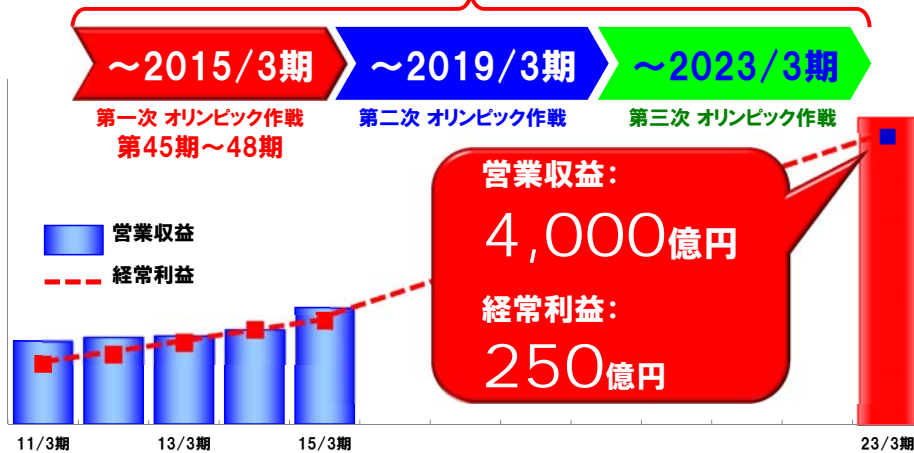
決算説明会

中長期展望

2014年5月30日
リログループ

第二の創業 前半戦目標

第二の創業 前半戦12年間



第二の創業 使命

1984年 リロケーション事業 創業

- ◆ リロケーション事業を日本に産み落とす
- ◆ 福利厚生分野の問題解決者

- 使命
- ◆ 本業以外の業務をサポート
 - ◆ 日本企業の世界展開を支援

第二の創業 使命



リロケーションがさらに活発化すると予測

- 使命
- ◆ 本業以外の業務をサポート
 - ◆ 日本企業の世界展開を支援
 - ◆ 真の開国に不可欠な存在

第二の創業 ビジョン

ビジョンの実現に向け
主力事業 **ダントツ** No.1

世界の
リロケーションカンパニー

社宅管理事業

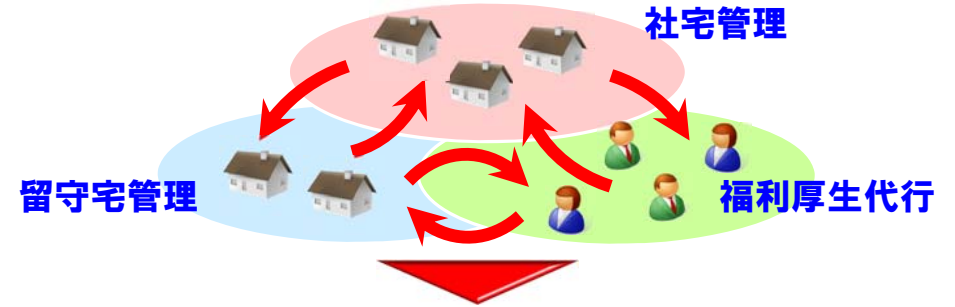
社宅管理

管理戸数目標 **40万戸**
(2023年3月期)

- ◆ システム投資
- ◆ ユーザビリティ向上
- ◆ ローコストメニューの開発
- ◆ **主力事業のM&Aも積極化**

主力事業の連携

既存顧客のニーズに対し総合的な福利厚生サービスを提供



連携により競争優位を確立

主力事業への貢献

競合他社サービスには無い、当社独自の付加価値を高める

海外現地における
困りごと解決

保険見直し
などの
コスト削減支援



主力事業のさらなる顧客獲得につなげる

賃貸管理事業 受託戸数

東都



TOHTO

利益倍増

受託 **3,023戸**
新記録達成

利益倍増
モデルを
横展開

ベスト



BESTUS
Best staff, Best status!

受託 **1,002戸**
計画達成

国内事業

日本全国で 賃貸管理・仲介事業を展開

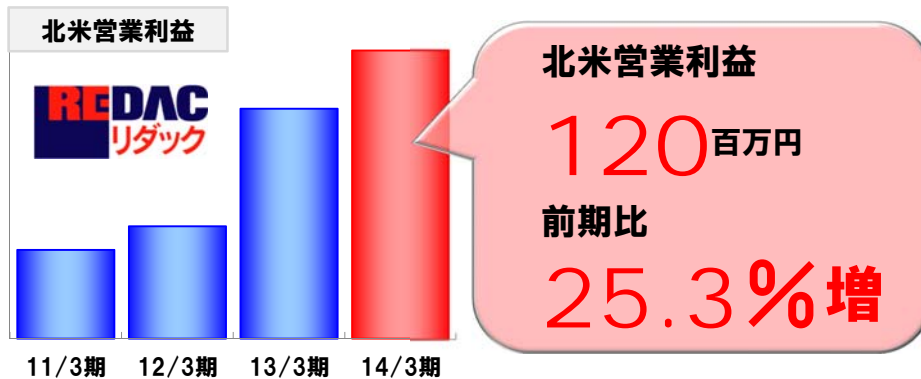


国内事業

- ◆ M&Aを加速
- ◆ 賃貸管理統括チームを設立
 - 主力事業との連携強化
 - 成功事例の共有・推進
 - 規模を活かしたコストダウン
 - ブランド戦略の構築・遂行

賃貸管理事業 営業利益 目標 **100億円** (2023年3月期)

海外事業



営業利益 **\$1ミليون 突破**

海外事業



海外事業

海外赴任規程
コンサルティング

出張手配
代行(BTM)

海外赴任
業務支援

インバウンド
リロケーション

給与指数
データ販売

海外赴任業務支援のフロント商品をさらに拡充

海外事業 コンテンツ拡充

Japanese Assistance Network, Inc.



赴任者・家族を24時間多言語緊急サポート

海外事業(北米)

サービスアパートメント運営

住宅斡旋 約1,500世帯

社宅管理 約1,700戸

サービスアパートメントが
住宅斡旋のフロント商品



海外事業展開



サービスアパートメントを軸とした
世界展開を構想

海外事業展開



ホテル + サービスアパート

海外事業展開



海外赴任者のコミュニティづくりにも貢献

赴任から帰任までトータルサポートを提供

安定成長の継続

14期連続増収 11期連続増配

